

平成31年度 入学式 式辞

遠くに臨む白山の残雪も春の日射しに輝き、桜のつぼみも膨らみ始めた今日の良き日に、入学式を迎えられた二百十一名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子様の入学を心より歓迎し、お喜び申し上げます。

また、本日ここに、能美市長・井出 敏朗 様、並びに市関係各位、地域の方々をはじめ、多くのご来賓をお迎えし、能美市立寺井中学校入学式が挙行できますことを、心より感謝し、厚く御礼を申し上げます。

今ほど担任より一人ひとりが呼名されましたが、緊張感の中にもしっかりとした返事からは、不安な気持ち以上に、中学校生活に胸、膨らませる皆さんの期待や決意が感じられました。

今日の日の気持ちを忘れることなく、充実した中学校三年間を送り、大きく成長することを願っています。

本校では、笑顔があふれる学校づくり、感動を分かち合える学校づくり、そして、感謝の気持ちを大切にされた学校づくりを進めています。皆さんにとって、安心してそのような学校生活となるよう、先生方は全力を尽くし、皆さんを応援します。

また、皆さんの後ろにいる二年生、三年生の先輩方から、多くの事を学んで下さい。

小学校で知っている先輩とは違う、中学生として成長したその姿から学び、一日も早く学校生活に慣れ、寺井中学校の一員となって下さい。

さて、皆さんの入学にあたり、一つだけ話をしたいと思います。

4月1日に発表された、次の元号「令和」は、「人々が美しく心寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」と言う意味があります。この中で使われている「和」の一文字が、本校の校訓に用いられています。

それは、「和して学ばん」です。

授業で学んだ知識や技能、部活動で学んだ礼儀正しさや精神力、学級会や生徒会活動で学んだ協力できる力は、必ず、これからの人生を支え、豊かにしてくれます。

そのための学び方を示した校訓「和して学ばん」の求める姿は、「仲間と高め合い、共に育つ」姿です。

これは、全校生徒が一つになり追い求める姿でもあり、是非ともそのような寺井中学校の学びの文化、伝統を、授業で、部活動で、行事の中で、先輩とともに築いて下さい。

嬉しいこと、つらいこと等、様々な経験が待ち受けているでしょうが、互いに協力し、高め合う中で、尊敬や思いやり、協力すること等の精神を培い、自覚と誇りを持った寺井中学校生徒となって欲しいと思います。

保護者の皆様方に申し上げます。

改めまして、お子様のご入学おめでとうございます。本日より大切なお子様をお預かりいたします。

先程、全校生徒に対し「仲間と高め合い、共に育つ」学校づくりをお願いしました。勉強や部活動等、学校におけるすべての活動の基盤が、そこにあると私は考えております。

様々なことが待ち受けているとは思いますが、自分の事だけでなく、広い視野で周りの人と接することができる人、自分の周りの様々な人に支えられていることへ、感謝の気持ちが持てる人を、是非、育てたいと思っています。

そのためには、学校と家庭がお互いの役割を理解し、連携しながら子どもたちを見守り育てていくことが、何よりも大切になります。

私たち職員は、保護者の皆様方とともに子どもたちの成長を楽しみ、苦勞を感じ合いながら、生徒一人一人の健やかな成長を願い、期待に応えられるよう努力してまいります。

結びに。ご来賓の皆様方、地域の皆様方には、日頃より、本校に対しまして、温かなお声掛けやご支援を賜り、また、公私ともにご多用な折、本校新入生の前途を祝福していただきましたことに、改めて厚く御礼を申し上げ、私からの式辞といたします。

平成31年4月5日

能美市立寺井中学校長 西田 誠一